

令和5年度 入学式
式辞

希望にあふれる 春がやってまいりました。
新入生の皆さん 入学おめでとうございます。心より歓迎します。

麗しきこ御津の地 山々では 我こそはと競いあうように
さまざまな青葉が 芽吹き始めています。

この佳き日にあたり、ご来賓として
同窓会長 藤原宏樹(ふじわらひろき)様 並びに
PTA会長 尾崎優(おざきすぐる)様
PTA副会長 安田吉範(やすだよしのり)様のご臨席を賜り
愛知県立御津あおば高等学校 第38回入学式を挙行できますことは
この上ない喜びでございます。
職員を代表して、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

はじめに 本校は、去る令和5年4月1日
愛知県条例 第四十九号 愛知県立学校条例の一部を改正する条例により、
愛知県立御津高等学校から愛知県立御津あおば高等学校へと
学校名が変更されましたことをここに宣言いたします。

新入生の皆さんは、御津あおば高校の記念すべき
1期生であるとともに御津高校の38回生でもあります。
このことは、皆さんのアイデンティティとして
大変重要なことですから 心の中にきちんとしまっておいてください。

さて、本校のコンセプトは、「ダイバーシティ」「インクルーシブ」「グローバル」「サステイナブル」
すなわち 「多様性」「包括性」「国際性」「持続可能性」の4つです。
“いろいろな人が違いを認め、一緒になって 地域の未来を創り 世界へ羽ばたく”
そのような意味が込められています。
グローバル社会になった現代、持続可能な地域社会 日本の社会を創っていくには
多様性を受け入れ、包括的で寛容な考え方をしていかなければなりません。

ちょっと隣の人を見てみましょう。あなたと同じでしょうか？ 違いがあるでしょうか？
特性と言って、人は誰でも それぞれ異なる得意なことや苦手なことをもっています。
伸びるタイミングも違います。みんな違って当たり前なのです。

これから始まる高校生活で、それぞれ違いがあることを楽しんでいきましょう。
そして、自分の得意なことで 周りの人を手助けしたり、
お互いの凸凹を補ったりできたとしたら、 とっても素敵だと思いませんか。

ここで一つのエピソードを紹介します。 昨年十月に本校のこの体育館で開催された
豊川市国際交流協会主催の日本語スピーチコンテストで、
ベトナム出身の技能実習生のクアットさんが、
片言のスピーチの中で、 こんなことを述べてくれました。
「どんなに寒い冬があっても 必ず春に桜は咲く
どんなに大きな 地震が起こっても 富士山は堂々としている」
「たいへんでも あきらめちゃいけない」

いかがですか？ 皆さん。 おそらく これまでにも様々な困難があったことと思います。
これからの高校生活でもあるかもしれません。
しかし、 自分の夢 自分の未来を描き、 自分を信じて
あきらめずに、 そして堂々としていてください。
学ぼうとする気持ちを持ち続ければ 必ず道は拓けます。
熱意ある先生方 優しい先輩たち この御津あおばの温かい環境が
皆さんの頑張ろうという思いを しっかり後押しします。

保護者の皆さま、 深い愛情をもって育てられた大切なお子様を
本校に送り出していただき本当にありがとうございます。
私たち職員も皆さまと気持ちは同じです。
一人一人を大切に、充実した高校生活を送れるように
全力で指導 そして支援をさせていただきます。

最後に 皆さん。 今、笑顔ですか？ 笑顔を見せてください。
そうしたら そのまま隣の人の顔を見て …… そう笑ってください。
笑顔は、 世界共通 万人共通のことばです。

すべての人が 笑顔で過ごせる学校を 一緒に創っていきましょう。
あおばの園には、 笑顔の花が似合います。
あなたのほほ笑みが、 周りの人を幸せにします。
「レッツ スマイル」 入学にあたり、 皆さんに この言葉を贈ります。

令和5年 4月6日

愛知県立御津あおば高等学校長 森田恭弘